

運営形態検討委員会準備会議事録

日時：平成 28 年 7 月 17 日 12:30-14:25

場所：エポカルつくば小会議室 405

・ KEK 放射光計画の進捗状況（村上施設長）

計画の進捗，ロードマップの改訂，放射光計画に関する KEK Project Implementation Plan (KEK-PIP)，KEK での組織体制，CDR (Conceptual Design Report) 暫定版について，放射光計画の必要性や CDR 作成スケジュールを含めて紹介があった。当委員会は CDR のスケジュールを意識するが，その後も引き続き検討を行う。

・ KEK 放射光計画に対する PF-UA の今後の活動方針（平井会長）

3 月に開催された PF シンポジウムでの PF-UA 総会合意を受け，運営形態検討委員会（運用，利用形態の具体化を検討する。オールジャパン体制の構築に働きかける），ビームライン検討委員会（ビームライン，エンドステーション，実験装置の具体化を検討する。CDR，TDR (Technical Design Report) 作成に貢献する），ビーム利用検討委員会（サイエンスケース，サイエンスフラッグシップを検討する。CDR の作成に貢献する）が発足した。各委員会の構成メンバー，ミッションについて詳細な説明があった。

・ 委員会のミッションの確認（佐藤委員長）

フォトンファクトリー将来計画検討委員会最終報告書にある，次世代放射光施設の利用形態と運営体制について，具体的な検討を行い CDR 等に反映させる。企業・他組織からの参加など，構成メンバーを検討する。

KEK 放射光計画に対する PF-UA の活動経緯，今後の理想的な新放射光の運営体制について，これまでに行った提案について説明があった。

・ 次世代放射光施設の利用形態と運営体制に関する議論について（足立委員）

次の論点が紹介された。

- ◆ 学術，産業，など多くの視点から，更地からの実際のユーザーによる議論
- ◆ 物質構造科学分野の更なる進展への寄与
- ◆ 必要な機能のブラッシュアップ
- ◆ 大学，大学共同利用機関，大学以外の役割の整理
- ◆ ボトムアップとトップダウンの両方の視点
- ◆ 社会を意識した発信（運営，研究の議論）
- ◆ 大学共同利用の再定義に関する議論

・ その他の議論（佐藤委員長）

企業、他組織からの委員の選定についての議論を行い、名前が出た方に委員を依頼する方向で検討することとした。運営体制として、客員研究系、サテライト研究室、オープンラボ的な企業利用などについて議論を行った。